



6月のご挨拶

副校長 竹下 徹

雨に紫陽花の花が鮮やかに映える季節となりました。生徒たちの制服も夏服に変わり、またあの暑い日がやって来るのだと、時の流れの早さに驚かされます。

5月14日(日)創立60周年記念体育会が開催されました。今年度の体育会のスローガンは、「紡~together let's celebrate with all our heart」でした。昨年に引き続き、今年度もコロナ禍前のような体育会を開催できたことを本当に嬉しく思います。生徒たちは笑顔で様々な種目に一生懸命取り組み、創立60周年を記念した全校生徒による一体感のある学校応援には特に心打られました。

話は変わりますが、今日は私と英語との出会いについて書きたいと思います。私は熊本県北部の人口約7,000人の小さな町で生まれ育ちました。中学1年生で初めて英語を学び始めた時、英語の先生が友人のセラ・リードさんというアメリカ女性を何回か授業に連れて来てくれました。今から50年以上前に熊本の田舎町で、外国人を見かけるということは皆無と言っても過言ではありませんでした。彼女の「あなたは英語が上手ね。」という言葉を実に受けたことにより、英語とともに生きて行くという私の人生が決まったのでした。

それから大学に進学してからは英語を専攻し、大学2年生の時に初めての海外旅行でアメリカに行きました。今から45年も前のことです。その旅は、2か月かけて西海岸から東海岸まで往復するもので、アメリカ人の先生が紹介してくれたホストファミリーのお宅にお世話になり

ながら旅を続けました。どのホストファミリーも初めて会ったとは思えないほどの優しさで、「自分の家にいるようにリラックスしてね。」「冷蔵庫から好きなものを取って飲んだり、食べたりしてね。」と温かい言葉をかけてくれました。別の目的地へ出発する際はバス停まで送ってくれ、「これをバスの中で食べてね。」と言って、サンドイッチの入った袋を泣きながら渡してくれました。長くても1週間程度の滞在だったにもかかわらず、見ず知らずの日本人に何故ここまで優しくしてくれるのだろうと不思議に思うと同時に、心からありがたいと思いました。

この経験がきっかけとなり、大学4年生の時にアメリカに1年間留学しました。留学中は、アメリカ人をはじめ、20か国以上の国から来た留学生と一緒に寮で生活を共にし、英語という共通言語を用いて、コミュニケーションをとる日々でした。この留学体験は、英語という言葉の有用性を改めて分からせてくれただけでなく、全く文化の異なった人々と気持ちを共有し、相手を理解しようと努力することがいかに大切なのかということに私に教えてくれました。人との出会いとは、時にこれほどまでに大きな影響を与えるものです。皆さんも誰かとの出会いを大切にしてください。あなたとの出会いにより、人生が変わる人がこれから現れるかもしれません。

皆さんも海星で学ぶことにより、人を思いやるのが自然とできる人になって欲しいと思います。また、英語というツールを使って自分の世界を広げてくれることを願っています。

体育会を終えて

赤団団長 宮本誓音



これまで皆さんも新型コロナウイルスの影響で沢山の学校行事の中止を目の当たりにしたと思います。そんな中、今年は規制無しで、赤ブロックの団長として体育会が出来たことを嬉しく、また誇りに思います。不安と緊張を胸いっぱい抱えながら1か月前に赤ブロックのみんなの前で挨拶したのも、汗水垂らしながら、みんなでラジオ体操や「ふるさと」を練習したのも、もう懐かしく感じます。皆さん、体育会は楽しかったですか？練習期間できつい思いをした人もいると思いますが、私はこのメンバーで沢山笑って、沢山泣いて、大きな声で応援をすることが出来て、また最高の形で終わって本当に嬉しかったです。これからも海星ファミリーとしてみんなで協力し、元気よくいろいろな行事も乗り越えて行きましょう。

こんにちは。白ブロック長、高木澄麗です。創立60周年となる素敵な年に、団長をやれたことに感謝の気持ちでいっぱいです。赤白関係なく、海星全体で、全力でやることのできた体育会だったと思っています。選曲に振り付け、サプライズ企画を自分達でできたことは一生の思い出です。体育会に関わった全ての方々、一番近くで闘ってくれた団員のみんな、ありがとうございました。来年も素敵な伝統を紡げるよう、祈っています。

白団団長 高木澄麗



白団ダンス長 大方柗乃



今年の体育会は創立60周年を迎える年に行われる、特別なものでした。去年よりも練習の期間が短い中で、ギリギリまで修正を行いながら、練習に励み、無事完成することができました。どうすれば、よりよいパフォーマンスをご覧に入れることができるのかを日々試行錯誤して、練習を重ねました。みんなの協力的な姿勢のおかげで満足いくものに仕上げることができました。赤団に負けてしまいましたが、練習から当日にかけて、かけがえのない思い出をたくさん作ることができたので、この体育会で得たものを忘れず、日常生活にも活かしていきたいです。



良い天気にも恵まれた中、高校生活最後の体育会を最高の形として、無事に終えることが出来ました。私は赤団ダンス長を務めました。みんなで楽しめるダンスと曲を考えましたが、どうでしたか？学年を超えて皆と楽しく練習し、本番を迎えることが出来て、私自身とても楽しい最高の体育会の思い出となりました。海星は記念すべき60周年であるため、合同演技も行いました。赤と白が協力し、どの世代も楽しめるダンスと曲をメインに披露しました。歓声や拍手をいただくことが出来て、とても嬉しかったです。みんなで楽しく協力し、一生懸命頑張った体育会は私の一生の宝物です。いつも励ましてくれた先生方、応援してくれた保護者の方々、そして、ともに汗を流した仲間たち、本当にありがとうございました。

赤団ダンス長 高橋溜衣



体育会実行委員長 原菜摘



入学してから2年間、思うように学校行事が行なえなかった分、今年は「皆さんの思い出に残る体育会にしたい!」という思いがありました。私は人前に立って喋るのが苦手で、最初は不安でしたが、たくさんの方々を支えてくださり、最後まで頑張ることが出来ました。体育会当日、皆さんの笑顔を見て、私まで楽しくなりました! 私の中で、すごく心に残る体育会になりました! 体育会を通して学んだことをこれからに生かしていけるように頑張ります。本当にありがとうございました!

体育科主任 森香織先生より

創立60周年という節目となる年に生徒を中心に多くの方々のご協力のもと、盛大な体育会が開催されましたことに心から感謝いたします。体育会前日まで、うまくいかずに毎日誰かが相談に来るといった状況でした。そういった中でも体育会実行委員長の原さんを中心として各団長、リーダーがあきらめることなく、全校生徒をしっかりとまとめ、本番まで導いてくれました。日々の練習や状況で疲れている中でも、生徒たちは「先生!しっかり寝てくださいね!」「先生頑張ってくださいね!」「明日もよろしくお祈りします!」といったあたたかい心遣いをしてくれました。海星の生徒の優しさを改めて感じた期間でもありました。また先生方・事務室の先生・用務の先生方・スクールバスの先生方・各部活動の先生方など、すべての先生方が「子どもたちのためなら!!」と言って動き回って下さいました。人は人に支えられて生きているということにも改めて感謝した期間でした。体育会を終えて全校生徒に「体育会の振り返りシート」を記入してもらいましたが、特に3年生の殆どの生徒が「最高の体育会・最高の青春でした!」と書いていました。倒れそうになってもあきらめず、一人一人が想いを紡ぐことができれば乗り越えられることを、この体育会を通じて生徒たちが実感し学んでくれたら幸いです。



体育会開催に尽力した生徒会執行部たちと横断幕

Schedule of events

6/29	木	ラブ・アース・クリーン活動
7/3~6	月~木	期末考査
7/15	土	終業日
7/19~20	水~木	面談

Follow me!

福岡海星女子学院高校